

2021年8月4日  
日本広報学会  
理事長 柴山 慎一

## 日本広報学会 第27回研究発表全国大会

### オンライン開催のご案内

主 催: 日本広報学会  
開催校: 上智大学

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第27回研究発表全国大会は、以下のご案内の通り、2021年10月9日(土)10日(日)の日程で、オンライン会議システム Zoom を利用して開催いたします。

当初、上智大学四谷キャンパスにて開催する予定で準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症が引き続き拡大している状況に鑑み、対面での開催は困難であるとの結論に、大会運営委員会、研究委員会、常任理事会として達しました。

オンライン開催とはなりますが、会員の皆様におかれましては、広い視点から広報・コミュニケーションに関連する研究成果をご披露いただければと存じます。各分野の碩学の皆様、教育・研究機関に属する若手研究者の皆様、企業や自治体等に在籍する実務家・専門職の皆様、どうぞ奮ってご参加・ご発表くださいませ。

なお、宿泊先を既に予約済の方は、忘れずにキャンセル手続きをなさってください。

## 1. 統一論題

### 広報教育の発展とデジタル・トランスフォーメーション

#### <趣旨>

激変するメディア環境や社会情勢に対応し、大学や大学院、組織における広報教育は変化を求められている。1951年に上智大学が日本初の広報学の講座を設置してから70年が経過した。最近、講座を提供する大学や大学院も増え、現場の広報パーソンが学べるセミナーや勉強会も増えている。その間、広報教育の内容も発展・多様化し、近年ではSNSやウェブ動画の戦略的活用などが教育プログラムに取り込まれるようになってきている。

しかし、広報教育には未だ多くの課題がある。例えば、学部教育では広報の学位を授与する大学が依然として存在せず、広報を体系的に学ぶ機会が諸外国に比べ圧倒的に少ない。大学院教育では研究者の育成が遅れているため、学術的な広報研究の担い手が少ない状況が続いている。そして実務の現場では、複雑化・多様化する広報ニーズに対応できる人材の育成のあり方が問われている。

現に、新型コロナウイルスの感染拡大・長期化という未曾有の危機において、あらゆる組織が広報活動のデジタル化を強いられ、その担い手の育成が急務となった。また、今後、組織の成長や競争力強化のためにはデジタル技術の活用を通じたビジネスモデルの改変、すなわち、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の必要性が指摘されている。DXは消費や経済、法制度、政策など社会の各方面に大きな影響をもたらす可能性があり、広報領域においてもDXに対応できる人材の育成が求められている。

変化を続ける環境の中で、様々なステークホルダーとの信頼関係の構築と維持という広報のミッションを担う人材にはいかなる知識や技術、能力、資質が、そしてどのような育成のあり方が求められているのだろうか？広報教育は今、どのような現状にあり、課題を抱えているのか？本大会では広報教育の発展に貢献してきた研究者や実務家をお招きし、広報教育の過去と現在、そして未来について議論をしたい。

## 2. 会期

2021年10月9日(土) 10:15～16:20

10日(日) 09:30～16:00

### 3. 会場

オンライン会議システム Zoom

※統一論題シンポジウム(基調講演+パネルディスカッション)、自由論題口頭発表、ランチョンセッションは、Zoom を使ったリアルタイム実施(同期実施)といたします。Zoom の ID 等は、大会参加の申し込みをしていただいた方にご連絡をいたします。また、ポスターセッションは PDF ファイルの配付による非同期実施といたします。いずれも、報告方法や参加方法などの詳細(マニュアル)は、追ってご連絡いたします。

### 4. 全体スケジュール

#### **10月9日(土)【1日目】**

- 10:15～10:25 開会式
- 10:30～12:30 統一論題① 基調講演  
基調講演者: 田中道昭氏(立教大学ビジネススクール教授)
- 14:00～16:00 統一論題② パネルディスカッション  
テーマ: 広報教育の発展とデジタル・トランスフォーメーション  
パネリスト: 調整中
- 16:05～16:20 学会賞表彰式

#### **10月10日(日)【2日目】**

- 09:30～11:45 自由論題口頭発表(午前の部)
- 12:00～13:00 ランチョンセッション
- 13:15～15:30 自由論題口頭発表(午後の部)
- 15:45～16:00 閉会式・次回開催校挨拶

※詳細なプログラムは 9 月上旬をメドにみなさまにご連絡いたします。

## 5. 自由論題口頭発表の研究発表について

発表ご希望の方は、オンラインフォーム「第 27 回研究発表全国大会＜研究発表＞申込書」(<https://www.jsccs.jp/27abstractsubmission.html>) に必要事項をご記入の上、ご提出ください。また、下記を厳守願います。

- (1) 発表のための応募資格(下記8)をご確認ください。
- (2) 口頭発表は2 日目に実施します。1 報告あたり質疑応答を含め 30 分の予定です。発表の時間や会場のご希望はお受けできません。
- (3) 発表の申込期限は 8 月 6 日(金)です(必着、期限厳守)。発表論題と要旨(400 字以内)をオンラインフォームにて提出してください。
- (4) 本大会での発表は、他学会も含めて未発表のものに限ります。学会誌『広報研究』への論文等投稿とは直接関係ありませんので、『広報研究』投稿と同一テーマの発表も差し支えありません。
- (5) 発表時点で学術研究として完成している必要はありませんが、将来的に学術研究として仕上げる意図がないと考えられる内容の場合、発表をお断りすることがあります。
- (6) 発表の可否は提出された要旨に基づいて大会運営委員会で決定し、ご本人に連絡します。ただし、予稿の提出締切までそれほど間がありませんので、あらかじめご承知おきください。
- (7) 優れた発表をされた報告者に対しては、学会誌への投稿をお願いする場合があります。

## 6. 予稿について

自由論題口頭発表の発表予定者には予稿(発表予定原稿)を作成いただきます。予定者には、発表可否の通知とともに執筆要領をお送りします。予稿は執筆要領に記載された方法にてご提出ください。

- (1) A4、2 ページまたは 4 ページにて作成し(図表、注、文献を含む)、完全原稿を提出してください。学会事務局・大会運営委員会では校正を行いません。
- (2) 予稿の提出期限は 8 月 23 日(月)正午です(必着、期限厳守)。必ず執筆要領を確認し、指定された方法でご提出ください。

## 7. ポスターセッション発表について

発表ご希望の方は、オンラインフォーム「日本広報学会第 27 回研究発表全国大会〈ポスター発表〉申込書」(<https://www.jsccs.jp/27posterabstractsubmission.html>)に必要事項をご記入の上、ご提出ください。また、下記を厳守願います。

- (1) 発表のための応募資格(下記8)をご確認ください。
- (2) ポスター発表は PDF ファイルの配付により非同期にて実施します。A 判 1 ページの PDF ファイルを各自でご準備ください。ファイルの提出締切は 9 月下旬を予定しております。詳細は後日あらためてご連絡いたします。
- (3) 発表の申込期限は 8 月 23 日(月)正午です(必着、期限厳守)。発表論題と要旨(400 字以内)をオンラインフォームにて提出してください。なお、予稿集には要旨がそのまま掲載され、著者順は申込書に記載の順番とします。
- (4) 本大会での発表は、他学会も含めて未発表のものに限ります。学会誌『広報研究』への論文等投稿とは直接関係ありませんので、『広報研究』投稿と同一テーマの発表も差し支えありません。
- (5) 発表の可否は提出された要旨に基づいて大会運営委員会で決定し、ご本人に連絡します。
- (6) 2020 年度および 2021 年度「研究事例・交流部会」「学会助成研究」の代表者の皆様には、例年同様、ポスターセッションでの研究報告(経過報告または成果報告)をお願いします。

## 8. 自由論題口頭発表・ポスターセッション発表の発表者の応募資格

自由論題口頭発表・ポスターセッション発表に応募される方は、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- (1)2021年6月2日現在、日本広報学会の個人会員、学生会員、法人会員代表者、法人会員登録者のいずれかであること。ただし、2020年度までの年会費に未納がなく、2021年度分の会費を2021年7月30日までに納入していること。
- (2)2021年7月30日までに日本広報学会の入会申込書を学会事務局に提出し、2021年度分の会費を同日までに納入した者。

ただし、個人会員が指導する学部ゼミ生は、非会員であっても、ポスターセッション発表に応募できます。応募に際しては、申込書の該当欄にチェックを入れ、指導教員名を明記してください。また、発表にあたっては所属ゼミナール名を明示いただき、指導教員もポスターセッション発表に立ち合ってください(指導教員が発表者に名を連ねるかどうかは発表者の自由です)。

自由論題報告・ポスターセッション発表を通じて、第1著者としての報告は1報告のみに限りません。ただし、7(6)で示した代表者が【「研究事例・交流部会」「学会助成研究」の報告をポスターセッション発表で行い、別の発表を自由論題口頭発表で行う】場合のみ、第1著者として両方の報告を行うことを認めます。また、第2著者以降として発表に名を連ねる際の報告数に制限はありません。

## 9. 大会参加申込と参加費・懇親会費の納入

Zoom の ID 等のご連絡の関係上、完全事前予約制といたします。期日以降の参加申し込みは受け付けませんので、ご了承ください。

○参加申込期日：10月6日(水)

○参加申込手続：オンラインフォームでの参加申込書の送付+振込による参加費の納入  
(両方が期日までになされていないと申込完了とはみなしません)

○オンラインフォーム：<https://www.jsccs.jp/27registration.html>

○参加費：個人会員・法人会員・非会員      3,000 円  
          学生会員                                      1,500 円  
          学部生    0 円  
(いずれも予稿集ダウンロード権を含む)

○参加費振込先

銀行振込：みずほ銀行丸之内支店／普通口座 2453666／口座名義 日本広報学会  
郵便振替：口座番号 00150-6-540368／加入者名 日本広報学会

※複数名での同時振込は、明細が不明になりますので、ご遠慮願います。

※法人会員代表でない登録者のお振込みに際しては、  
個人名を先頭に記入(入力)してください。

※振込手数料は本人のご負担とさせていただきます。

○領収書：参加費をお振り込みいただいた方には、当学会発行の領収書(一般会員・学生会員は個人名、法人会員代表・登録者は法人名)を発行いたします。参加申込フォームに領収書の要・不要をご記入ください。

○予稿集：予稿集は、学会 HP にて電子ファイル(PDF)で配布します。各自ダウンロードしてください。PDF のパスワードは大会参加申込者に別途ご案内いたします。なお、紙で印刷したものをご希望の方は、1 部 1,000 円で販売します。必要な方は参加申込フォームにその旨をご記入ください。

日本広報学会 第27回研究発表全国大会 大会運営委員会 (50音順)

運営委員長：国枝 智樹(上智大学)

運営委員：

岩澤 康一(Key Message International)、黒田 明彦(電通PR)、高柳 直弥(大正大学)、

真部一善(オフィス・マーベリック)、村上 信子(大分県立芸術文化短期大学)、

吉野 ヒロ子(帝京大学)

+

大島 昌子(学会事務局／事務局長)

河井 孝仁(東海大学／研究委員長)

<本件のお問い合わせ・ご連絡先>

日本広報学会事務局

〒169-8518 東京都新宿区高田馬場 1-25-30

TEL 03-5283-1104 FAX 03-5283-1123 Email: [jsccesty@gamma.ocn.ne.jp](mailto:jsccesty@gamma.ocn.ne.jp)

※今回のお知らせでは、プログラム等に未定部分がありますが、確定次第、学会ホームページで最新情報を掲示します。ホームページアドレス：<https://www.jscs.jp/>

以上